

# 国際大会参加報告書

2009年 8 月 7 日

社団法人 日本ボディビル連盟  
会長 玉利 齊 様

報告者 藤原 達也 (印)

大会名	アジアボディビル選手権 インド・オーランガバード大会				
開催期間	2009年 7月 23日 ~ 2009年 7月 29日				
開催場所	国名: インド		都市名: オーランガバード		
参加国数	9 カ国		参加選手数		42名
役員	役員名		役職・他		
	団長	玉利 齊	日本ボディビル連盟 会長		
	監督	藤原 達也	日本ボディビル連盟 副会長		
	コーチ				
	コ-4 通訳	中野 慶	マキムキ		
選手	選手名	所属連盟	カテゴリー	順位	備考
	津田 宏	東京	60kg級	2位	
	小久保一美	東京	60kg級	3位	
	山崎 岳志	大阪	65kg級	3位	
	近藤 賢司	東京	70kg級	1位	
	松下 純治	沖縄	75kg級	4位	
レポート	<p>7月23日成田発シンガポール経由ムンバイへ、翌日朝オーランガバード着。日本選手はベテラン・若手の5選手で構成され、若手2人が海外初遠征で緊張気味のなか、25日のウエイ・インも全員無事パス。翌25日の予選はCIDOCOホールで開催。私は全カテゴリーの審査を依頼され審査員席へ。長いセレモニー等で選手は長い時間待たされいよいよ予選審査開始、60kg級は須江選手と韓国の選手のトップ争い、65kg級山崎選手3位以内目指す、70kg級近藤選手インド・韓国より頭一つリード。75kg級松下選手国際試合初出場だが頑張る。26日決勝審査、順位はラウンド2・ラウンド3の合計で決定される。60kg級津田選手今までに無い気迫でトップ目指したが2位・小久保選手も念願のメダル獲得、65kg級山崎選手国際初挑戦で銅メダル獲得、70kg級近藤選手ラウンド1・2・3で1位 念願の金メダル獲得、75kg級松下選手今後の活躍が期待される4位。日本金1・銀1・銅2のメダル4個獲得の快挙を成し遂げた。全体の成績は 韓国が金4・銀4・銅1とオーバーオールチャンピオンを獲得圧倒的な強さを見せつけた。日本は今回の結果に満足せず、日本人選手のクリーンなイメージを生かしながら、軽量級はしっかりしたアウトライン・中重量級はより一層筋密度レベルアップが重要な課題と考える。尚、体調を崩した選手もいたが、国際試合は体調管理も試合の一部である。7月29日17:35 成田に成績をお土産に全員無事帰国したことをご報告いたします。</p>				

※ 本報告書は帰国後1ヵ月以内に大会結果表を添付して日本連盟事務局に提出して下さい。

※ レポート欄が足りない場合は別紙に記入して添付して下さい。